



なかよしタイム

仲間づくり（幼児編）

2023. 11. 13

今回のなかよしタイムは、きりん・ぱんだ・くま組で実際にみられる子どもたちの姿を職員劇にしました。子どもたちと劇を見て「どのように感じたか、どうしたら良かったか」を考え話し合いました。子どもたちの思いを職員である私たち大人も受けとめながら、振り返り一緒に考え、意見の交流をしました。

生活やあそびを通じて「相手の立場に立って、物事を考えられる力」も育みたい力です。豊能町は保育・教育の目標として「人権を大切にすることを子ども」を掲げています。私たち大人も、子どもの気持ちを尊重し「仲間づくり」を一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。クラス別に考えていきたい内容を紹介します。

～ くま組バージョン ～

※相手の気持ちを聞かずに、相手が引いてしまうような言葉を投げかけてしまう子どもの姿があります。今回は、一方的に言うのではなく、どうしたら良いのか考えました。

① ○○ちゃんがラキューで遊んでいると、○○ちゃんと○○ちゃんがやって来ます。「今日、遊ぶって言ってたやん」「ほんまや、遊ぶって言ってたのに」「もう知らん。もう遊ばないからな」「行こう」と、○○ちゃんは何も言えないまま、2人は行ってしまいます。話し方が少し怖くて、○○ちゃんは何も言えなかったようです。

☆どう言ったら良かったかな？



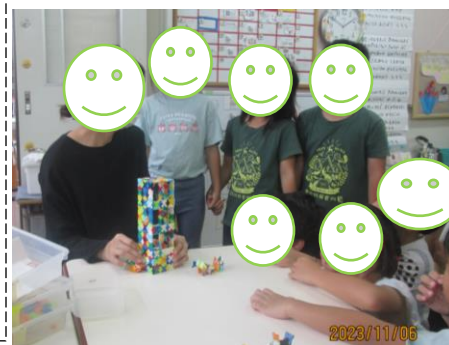
話し合い

◎もっと優しく言ったらいい！

◎その遊びが終わったらあそぼう”と言ったらいい

◎その遊びがしたかったん？”と聞いたらいい

話し合った後、子どもたちもロールプレイをしました。「怖い言い方より、優しくて良かった。」と体験した子どもたちは話していました。実際にやってみて気づくこともあったかもしれません。優しく声をかけられると、自分の思いも伝えやすかったようで、「もうすぐ終わるから待っててね」などの返答もしていましたよ。伝え方って大事ですね。



振り返り

※普段、子ども達の生活の中で実際にある事を振り返り、相手の気持ちや自分の姿に気づく経験となりました。日常の中で同じような場面があった時に「劇でみたやろ？」と保育者や周りの子が声を掛けたり、心地よい関わり方をしている姿を周りが受け止め認めていき、“一人ひとりの人権を大切にすることはどういう事なのか”を子ども達と共に考えていきたいと思います。

～ ぱんだ組バージョン

※自分が悪くないのに謝る姿や、「わざとじゃないから」と、謝らない姿があるので、今回はどんな時に謝るのか？なぜ謝らないといけいないのか？を、子ども達と考えました。

①○○ちゃんが並んでいると○○ちゃんと○○ちゃんも並びに行き、「早く並んで」と○○ちゃんが○○ちゃんを押して、○○ちゃんにぶつかります。すると、○○ちゃんが「ごめん」と、○○ちゃんに謝ります。

☆ぶつかったのは誰かな？

☆○○ちゃんが謝らないといけいないの？

☆誰が誰に謝るのかな？それとも誰も謝らなくていいのかな？

②○○ちゃんが積み木で遊んでいたら、○○ちゃんの足が当たって、壊れてしまいます。○○ちゃんは「わざとじゃないから、謝らへん！」と言います。

☆わざとじゃなかったら、謝らなくてもいいのかな？



～ きりん組バージョン

※友だちの足や体が当たると、大きな声で「痛い！」「やめて」と何度も言い、言われた子どもが困った顔になることがあります。どんな言い方をすれば相手に伝わるか、考えました。

話し合い

◎わざとじゃなくても、当たった時は謝る。

「○○ちゃんは押されたから、○○ちゃんは○○ちゃんに謝らなあかん」「○○ちゃんは何もしてないから、謝らなくていい」「押してた○○ちゃんが○○ちゃんに謝って、○○ちゃんは○○ちゃんに謝る」と、劇をよく見ていた子ども達。二つ目の劇で「でも、○○ちゃんはわざとじゃないって言ってたけど？」と子ども達に聞いてみると「わざとじゃなくても、壊したり当たったりした時は、相手が悲しい気持ちになるから謝る」という声があがり、みんなで考えました。

①○○ちゃんが椅子に座ろうとしたら、隣の○○ちゃんに当たってしまいます。「痛い！痛い！痛かった！！！！謝って！」と○○ちゃんは言います。大きな声に固まる○○ちゃんに、どうしたのか聞いてみると「怖い言い方やから、びっくりした」と話します。

☆○○ちゃんは、どんな風に言ったら良かったかな？

☆みんなだったら、どうするかな？



話し合い

◎大きな声でなくても聞こえるかも。

◎優しく言ってくれた方が謝りやすい。

子どもたちの意見を参考に、もう一度劇をしました。○○ちゃんが「痛かったから、謝って欲しい」と伝え、今度は○○ちゃんも「ごめんね」と言えました。子どもたちには○○ちゃん役をしてもらい、相手に聞こえるくらいの声で○○ちゃんが言うと、周りの子ども達もにっこりでした。